

ミシシippアカミミガメ

名前の通り北アメリカ原産の外来種です。1950年代にペット用として輸入されました。お祭りやペットショップなどでは、「ミドリガメ」として売られています。

甲長（こうちょう）はオスで20 cm、メスで28 cmほどまで成長します。目の後側に赤い模様があり、それが名前の由来です。幼体の甲羅は緑色できれいですが、成長するにつれて黄褐色や黒褐色になります。

平地の河川や池に生息します。肉食傾向の強い雑食性で、魚類や甲殻類、藻類などを食べます。

5月～7月頃になると、メスは水辺から離れた地面を掘り、10個以上の卵を何回かに分けて産卵します。

色が地味になること、大きく成長すること、気性が荒いことなどから、捨てられたり逃げ出したりしたものが野性化し、日本全国で定着しています。



富士市での現状

小潤井川や入山瀬の小河川やはたご池で確認しました。

大繁殖はしていないようですが、今度も注意して見守る必要があります。

ミシシippアカミミガメを確認したメッシュ

